

環境会計

JVC ケンウッドグループは環境省のガイドラインに沿った環境会計を導入し積極的に情報公開をすることによって、透明性のある精度の高い環境経営を目指しています。

環境保全コストの分析

2010年度の環境保全コストは、設備投資で14.6百万円、経費で637.1百万円となっています。環境保全コストの経費で前年に比べ大きな変化があった項目は「上・下流コスト」で153.9百万円減、「環境損傷等コスト」で115.1百万円となっています。「上・下流コスト」の変化は国内外で製品リサイクルコストが少なくなったことが大きな要因です。また「環境損傷等コスト」の変化は、

土壌汚染・アスベスト対策など2010年度は前年に比較して大幅に軽減したことが要因となっています。他の項目ではあまり大きな変化はありませんでした。

環境効果では、過去の設備投資などにより省エネ効果や廃棄物の有価売却益を確保していますが、事業所再編に伴い拠点数も減少、同様に環境会計の規模も小さくなる傾向にあります。環境保全コストの適正な運用により、環境負荷を低減し、環境効果の確保を図っていきます。

JVC ケンウッドグループ 環境保全コスト：環境保全活動のための設備投資と経費（百万円）

項目	内容	設備投資	経費	合計	
事業エリア内コスト	公害防止	大気、水質など公害防止のために必要な費用および投資	5.2	114.1	119.3
	地球環境保全	地球温暖化防止、オゾン層保護にかかる費用	2.2	13.3	15.5
	資源循環	廃棄物削減、リサイクル、再資源化費用など	7.2	68.9	76.1
小計		14.6	196.3	210.9	
上・下流コスト	エコ商品やグリーン購入のコスト、廃家電対策、包装容器リサイクル等	0.0	98.5	98.5	
管理活動コスト	環境にかかわる管理コスト、ISO取得・維持、研修、スタッフコスト	0.0	341.6	341.6	
研究開発コスト	エコ商品開発、省電力、有害化学物質代替技術開発コスト	0.0	0.0	0.0	
社会活動コスト	アメニティ対策、寄付、支援金や情報公開、環境広告、環境展示コスト	-	0.1	0.1	
環境損傷等コスト	土壌汚染等の修復費、補償金、罰金等その他コスト	0.0	0.6	0.6	
合計		14.6	637.1	651.7	

環境効果 環境保全活動による電気使用量および廃棄物処理費用の削減等 効果金額（百万円）

環境効果	分類	効果金額（百万円）	
		2010年度	過去分の累計
削減効果	事業場省エネルギー	50.1	202.7
	廃棄物処理費用の削減	0.5	11.3
	上下水費用の削減	4.3	17.9
	包装材および物流費用の削減	0.0	0.0
収益	工場廃棄物のリサイクルにかかる有価物売却益	124.3	
	使用済み製品のリサイクルにかかる有価物売却益	0.0	
合計		179.2	356.1

環境会計の対象範囲

期間	2010年4月1日～2011年3月31日
集計範囲	JVC ケンウッドグループ 国内 R&D センター、事業所・工場 八王子事業所、白山事業所、本社・横浜事業所、横須賀事業所、前橋事業所、ビクターフリエイティブメディア（株）、ビクターインテリア（株）、（株）山形ケンウッド、（株）長野ケンウッド、横須賀事業所技術センター
	海外生産会社 JVC アメリカ工場、JVC シンガポール工場、JVC マレーシア工場、JVC タイ工場、JVC オプティカルコンポーネント（タイ）、JVC インドネシア工場、JVC ベトナム、ケンウッド中国工場、ケンウッドシンガポール工場、ケンウッドマレーシア工場、ケンウッドフランス工場

参照ガイドライン：環境省「環境会計ガイドライン 2005年版」